

平成 22 年第 3 回太良町議会
(定例会第 3 回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
8.18	1	坂口 久信	1. 町長の進退について 岩島町長の任期は来年2月17日と、改選まで5カ月となった。 今後の町政運営も十分考慮して、進退についてどう考えておられるのか、町長の考えを問う。	町 長
			2. 観光協会事務所移転について 207号線沿いの「道の駅たら」の敷地内に移転を考えていただけないか。	町 長
			3. ICT（情報通信技術）の活用について (1) 情報通信技術を活用した国、県の事業はどのようなものがあるのか。また、事業に対する補助はあるのか。 (2) 学校教育におけるICTの活用状況並びに効果について。 (3) 町内に2か所程度、漁業集落、農業集落に特別地区を設けて、全国に太良町の特産物をPRして、町の活性化を図る考えはないか。	町 長 教育長
8.30	2	所賀 廣	1. 企業誘致について (1) 今後の企業誘致に対する考えについて、将来どのように進めて行く考えか。 (2) 交通アクセスを基本として考えた場合、我が太良町は、条件的に現時点ではマイナス要因が大きいと考えられるが、刑務所や社会復帰促進センター等は、ある程度その考え方に緩和される面もあると思われる。このような施設の企業誘致をPFI方式と考え合わせて前向きに検討してみてもよいと思うが、この件についてどう思われるのかをお伺いしたい。	町 長
9.1	3	下平 力人	1. 老人センター跡地利用について 親しみのあった老人センターも老朽化で解体され、現在は駐車場として使っているが、今まで同様駐車場として活用出来るのか。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
9. 1	3	下平 力人	<p>2. 少子化対策について</p> <p>(1) 少子化対策は全国的な案件でもあり、決め手が見い出せないまま月日だけが流れてしまっているような気がする。しかし、対策を諦めることなく本町としてさまざまな対応策に取り組んでこられたと思うが、少子化対策事業としての実績はどんなものか。</p> <p>(2) 保育料の減額について考えられないか。</p>	町 長
9. 1	4	平古場 公子	<p>1. 高齢者問題について問う</p> <p>今、全国で100歳以上の高齢者の所在不明者が日を増す毎に増え続けているが、人としてあってはならない事態に驚いている。</p> <p>家族も悪い、行政も悪い。これは、社会全体の責任が問われる問題だと思う。</p> <p>そこで、次の5点を質問する。</p> <p>(1) 我が町の状況はどうであったか。</p> <p>(2) どのように調査されたのか。</p> <p>(3) 65歳以上の独り暮らしの方は何名ぐらいなのか。</p> <p>(4) 平成12年に介護保険制度が導入されたが、高齢者に対し、どのようなサービスがなされているのか。</p> <p>(5) 施設は充分なのか。</p>	町 長
9. 1	5	牟田 則雄	<p>1. 法定外公共物の管理に関する条例の施行状況と運用について問う</p> <p>(1) 占用許可の申請が必要な所が約1,900件あると言われた内訳について。</p> <p>① 申請が必要な所と必要でない所は。</p> <p>② 必要な所で、有料な箇所と無料な箇所は（占有料）。</p> <p>③ 占有料が必要な箇所の総額は。</p> <p>(2) この条例のこれまでと今後の運用について。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
9. 1	6	末次 利男	<p>1. 行財政改革について</p> <p>現在我が国は、右肩上がりの経済の終焉による国・地方を通じた危機的な財政状況の中、人口減少・超高齢化社会の到来や高度情報化・グローバル化の進展など、多くの課題を抱え、大きな変革の時代を迎えている。こうした情勢の中で、どのように地方分権を確立し、自律的な自治体経営を進めていくのか、課題が山積している。将来安心した町政運営を確立するためには、微温湯意識を払拭し、コスト意識や成果重視など民間的発想を積極的に取り入れ、多様化・高度化する住民ニーズに対して的確かつ良質な行政サービスを提供する更なる体制整備が必要と思うが、以下の4点について問う。</p> <p>(1) 行財政改革基本方針について。</p> <p>(2) 効率的な経営システムの実現について。</p> <p>(3) 組織強化と意識改革について。</p> <p>(4) 指定管理者制度の評価と民間委託について。</p>	町 長